

令和5年度文京区教育委員会 主要施策

教育委員会は、「教育ビジョン～個が輝き共に生きる文京の教育～」の実現を目指し、教育目標に基づいた教育施策を推進するため、教育指針に則って次のとおり主要施策を定め、総合的に教育施策を推進する。

なお、主要施策に定めた施策の取組状況について、翌年度、教育委員会事務局で点検・評価を行う。

1 学校教育等

【視点1 持続可能な社会を見据えた新しい未来の創り手の育成】

① 新しい未来に向けた教育活動の推進

・ICT支援員による支援を充実させ、「ハイブリッド授業」を継続させるとともに、学習者用デジタル教科書及び各種アプリケーションソフトを活用した授業・家庭学習を推進し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る。

【視点2 学校教育における知・徳・体のバランスのとれた力の育成】

① 確かな学力の定着

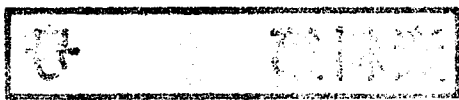
・児童・生徒が授業以外でも外国人英語指導員（ALT）とコミュニケーションをとる機会を確保し、これからの国際社会で必要とされるコミュニケーション能力の育成を図る。また、GTEC Junior（英語4技能検定）の受検を、小学校第5学年及び第6学年で実施し、英語4技能の向上を経年で把握する。

② 豊かな人間性の育成

・「いのちと人権を考える月間」として位置付けられている5月と12月に、「人権週間」や「障害者週間」と関連を図り、子どもたちが自尊感情や自己肯定感を高め、自分や他者の命や人権を大切にしようとする態度を育てる取組の充実を図る。

③ 健康・体力の増進

・「体力アップトレーナー」等、授業支援人材の配置により、体育授業を充実させ、児童・生徒の運動意欲や体力の向上を図る。



④ 保・幼・小・中の連携・接続

・9つのブロックを中心に、幼児・児童・生徒が行事等で交流するとともに、情報交換や研修等を実施し、異校種への理解を深める。

⑤ 特別支援教育

・障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の趣旨や合理的配慮の提供等について、年次に応じた研修や、各校において外部講師を招いた研修を実施し、特別支援教育についての理解を深める。

【視点3 地域ぐるみで子どもの教育に取り組むための連携・協働】

① 家庭・地域と連携した学校・園づくり

・幅広く保護者や地域住民等が参画することにより、地域と学校が連携・協働し、地域全体で子どもたちの成長を支え、教育活動の充実や教員の負担軽減につなげる。

② 家庭教育への支援

・子どもたちの健やかな成長が図られるよう、思春期など子どもの発達段階に応じたかわり方や自由研究や金融教育など各種講座の開催により、保護者の学習機会を充実させ、親子の育ちを支援する。

【視点4 子どもの学びを保障する教育環境】

① 教員の資質・能力向上、教育に専念できる工夫

・教員の負担軽減を考慮に入れた年次や職層等に応じた研修を実施し、「令和の日本型学校教育」を担う教員に求められる資質・能力の育成を図る。

② 安全・安心な学校生活のための危機管理体制

・現在、学校・幼稚園で運用している情報連絡配信システムのサービスが終了となるため、システム上で安否確認が行える機能を搭載した新システムへの切り替えを行い、緊急情報等を迅速かつ正確に伝達できる体制を整える。

③ 子どもたちの課題に対する専門的アプローチ

・スクールソーシャルワーカーの配置校を増やし、教員やスクールカウンセラーと「チーム学校」で、より丁寧な対応を行う。また、モデル校の学校内の居場所に指導員を配置するほか、NPOと連携してオンラインシステムを活用した支援に取り組むなど、児童・生徒の状況に応じた支援を進める。

④ 学校運営に適した学校規模

・児童数の増加に応じた普通教室の増設を適切に行い、子どもたちが快適な学校生活を送ることができる教育環境を整える。

⑤ 学校施設等の整備

・老朽化した校舎の改築を行うことで、多様な学習活動に対応した指導を可能とするとともに、安全な学校生活を送ることができるよう施設面の整備を図る。

2 図書館

・「文京区立図書館改修等に伴う機能向上検討委員会報告書」等を踏まえ、ICT化の推進など図書館の機能やサービスの充実を図り、利用者の利便性を向上させる。また、小石川図書館の改築については、竹早公園との一体的整備のコンセプトに基づき、基本計画を策定する。

(令和5年1月18日 文京区教育委員会教育長決定)